

2025年度 事業計画

(2025年4月1日～2026年3月31日)

1. 基本方針

事業を通して、自治会会員の交流と親睦を行います。顔がわかる地域内の人々と協力し、支え合える関係をつくります。防災・防犯の活動など、住んでよかった街づくりをすすめます。

2. 世代ごとの事業を実施します

子どもまつりや七五三お祝い写真撮影会など、子ども向けの企画は「子ども向けの事業」(仮称)が中心となって企画運営を行います。同様に、「真ん中世代の事業(30～50歳代)」(仮称)、「高齢者向けの事業」(仮称)と合わせ3つの「事業」を、地域内外の交流や世代を超えたふれあいを企画し会員と共に事業をすすめます。

「事業」は役員と評議員、サポーターで構成し年間を通じて活動します。「事業」の選択は希望を募りますが、極力全員で構成することとします。複数の「事業」への参加も可能とします。また「事業」同士が協力・協同し合い自治会全体の運営にあたります。

3. 子ども向けの事業

子ども向けの企画として一番に思いつくのは「子どもまつり」です。コロナ禍を境に、子どもまつりの内容が大きく変わりましたが、子どもも大人も楽しめる企画として、自治会事業の大きな柱となります。

また、七五三お祝い写真撮影会は対象が絞られますが、地域の子どもたちの健やかな成長をお祝いし、今後の子ども向け事業への参加を促すきっかけとなると考えます。親子で模型飛行機づくりでは、親御さんと一緒に模型飛行機をつくり、学校のグランドで飛行機と共に走り回るという体験をします。コロナ禍以来中断している親子で餅つきは、子どもたちの交流はもちろん、その親の世代とさらに上の世代と、まさに世代を超えた交流により、地域内のコミュニケーションの向上が期待できることから、今年度に開催することを目指します。

4. 真ん中世代向けの事業

社会の活動を推進する真ん中世代は、仕事と家庭、子育てなど大変多忙な時期であると思われます。地域における活動にまで手が及ばないという状況ではないでしょうか。この地域で生活するためには、安全・安心であることが重要となります。安全な地域であるためには防災意識を高めること、安心な地域のための防犯が行き届いていることが求められます。これら、安全・安心をつくり守っていくために、自らが意識を高めて備えていくこと(自助)

と隣近所・地域の中で協力し合っていくこと（共助）を自治会の事業として取り組みます。

防災訓練、見守り活動、巡回パトロールなどを中心に、地域の安全・安心を守る活動を行っていきます。

5. 高齢者向けの事業

地域内で独りぼっちをつくらないよう、交流や健康的な生活を送るための事業を実施します。瀬ヶ崎自治会集会所が地理的な中心であることから、集会所を活用した事業を展開します。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括支援センターとの共催や他の団体・サークルとの連携を行い幅の広い活動を行います。

体操、講話、おしゃべり、食事、レクリエーションなど多彩な活動により、生き生きと生活でき、地域内でのコミュニケーションが高まっていくことを応援します。

6. 具体的事業内容

これまでの経験から、いくつかの事業を計画しました。3つの世代向けの事業を議論することで、事業計画を充実させていきます。具体的な事業内容は自治会報、ホームページ、公式ラインアカウント等で広報していきます。

月	事業	月	事業
4	総会議案説明評議員会	10	子どもまつり
5	自治会総会	11	七五三お祝い写真撮影会 区主催ごみゼロ運動 避難所運営訓練
6	市主催ごみゼロ運動 ふれあい会食	12	防災訓練（AED） 親子で餅つき 巡回パトロール
7	防災訓練（消火・地震）	1	ふれあい会食
8	巡回パトロール 夏休みラジオ体操の会	2	親子で模型飛行機づくり
9	敬老お祝い会	3	巡回パトロール ふれあい会食
毎月の活動として			
1. 三島児童遊園・集会所の清掃活動（隔週日曜日 10時～ただし7～9月は9時～）			
2. 古紙回収（毎週木曜日）			
3. 道祖土小学校下校時南門見守り（毎週木曜日）			
4. 役員会・評議員会の開催、世代別事業の開催			
5. 広報活動（自治会報、ホームページ、公式ラインアカウント）			

